




# ねぎし

横浜市立根岸小学校  
学校だより  
5 月 号  
令和8年4月30日

ホームページはこちら 

## 筍ぐんぐん

校長 杉山 真理子

4月と思えないほどの陽気が続き、外で遊ぶ子どもたちの額には汗が光っています。新しいクラスの仲間や教師との出会いから1か月が過ぎました。新しい学年の学習や給食が始まり、先日は1年生を迎える会も児童運営委員会の企画運営で行われました。各学年から歌や寸劇など工夫を凝らしたメッセージが1年生へ送られ、令和8年度の児童会活動がスタートしました。

17日は学校説明会、懇談会に多くの保護者の方にご来校いただき、新年度の方針や取組についてお伝えすることができました。学校の教育活動は、保護者のご協力がなくてはなりません。引き続き、温かいご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

先日、所用で田舎に行きました。すぐそばに豊かな竹林があり、背が高く真っ直ぐに伸びている竹の間から、大小の筍が顔を出していました。筍は、地面から少し顔を出しているものもあれば、1mほどに成長しているものもありました。どの筍も茶色い皮をかぶっていて、大人の背丈にはまだまだ及ばず、可愛らしかったです。筍について調べてみると、筍は一晩で数十センチも伸びること、地下茎で大人の竹とつながっていて栄養を得ていることが分かりました。なんだか、大人に見守られながらすくすくと育つ子どもたちのような気がしてきました。さらに調べると、節の数は、地中にいるときから決まっています。筍の節はぎゅっと詰まってお



り、地上に出たからは提灯が伸びるように節と節との間伸びていくことも分かりました。まるで、新しい学年になり、新しい友達や先生、学習との出会いの中で、日々刻々と栄養を蓄え、自身を成長させている子どもたちのようです。

大人と同じようにすぐに何でもできるようにはならないかもしれませんが、昨日できなかったことが今日少しでもできるようになる、その積み重ねが筍のように大きな成長につながると思います。そして、そのスピードは筍ごとに異なるように、子どもによっても違います。でも、着実に成長しています。学校生活は楽しいことばかりではなく、時には壁にぶつかったり悩んだりすることもあることでしょう。しかし、その一つ一つの経験に無駄はなく、どの経験も子どもたちにとって「心の節」となります。竹のようにどんな強風にも折れることなく、強くしなやかに成長していくにちがいありません。引き続き、子どもたちの健やかな成長を支援していきます。

横浜市いじめ防止基本方針を受け、令和8年2月に根岸小学校いじめ防止基本方針を改訂しました。学校HPにも掲載しましたので、ご確認ください。

いじめとは、「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係※1にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響※2を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」という（いじめ防止対策推進法第2条）

※1「一定の人的関係」とは、学校の内外を問わず、同じ学校・学級や部活動の児童生徒や、塾やスポーツクラブ等当該児童生徒が関わっている仲間や集団（グループ）など、当該児童生徒と何らかの人的関係を指す。

※2「物理的な影響」とは、身体的な影響のほか、金品をたかられたり、隠されたり、嫌なことを無理矢理させられたりするなどを意味する。

「いじめの定義」を子どもたちにも分かりやすいように動画を用いて毎年確認をしています。